

# Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年8月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
2008年8月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。  
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.axa.co.jp/life/>

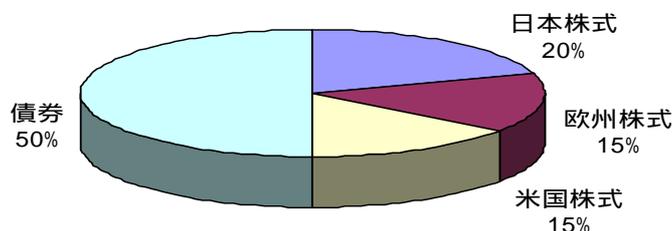
## 特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

## 目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



\* 上記は設定当初の資産配分比率です。  
\* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

## 運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

### アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 運用環境について(2008年8月)

## 【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の当月末終値は、日経平均が 2.27%の13,072円87銭、TOPIXが 3.75%の1,254.71ポイントとなりました。当月は不動産関連企業の倒産が続いたことや米国政府系住宅金融機関の経営不安から金融株式を中心に下落し、22日には日経平均12,631円94銭をつけました。月末には米国第2四半期実質国内総生産(GDP)改定値が予想外に高かったことを受け、金融、輸出関連を中心に買い戻され、日経平均13,000円台を回復しました。

中小・新興市場は不動産関連企業の資金繰り不安が続く中、全般的に弱い展開となり、年初来安値を更新する動きとなりました。東証2部および日経ジャスダック平均は、それぞれ 7.23%、5.52%となっています。

東証33業種の動きでは、上位業種は鉱業(+7.59%)、精密機器(+4.52%)、電気・ガス業(+4.15%)となりました。下位業種はその他金融業(13.91%)、銀行業(12.78%)、鉄鋼(11.29%)となりました。

## 【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は+1.22%、ダウ平均株価は+1.45%、ナスダック指数は+1.80%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

当月の米国株式市場は、月上旬は前月の流れを引き継ぎ、堅調に推移しました。バーナンキ米連邦準備制度理事会(FRB)議長が、「今年後半から来年にかけてインフレは鈍化するであろう」と発言したことや、原油など商品価格の調整、対ユーロでのドルの上昇などがプラス材料となりました。月後半にかけては、好悪材料が入り混じった展開となり、狭いレンジでのみ合いとなりました。グルジア紛争などにより短期的に調整局面に入るなどの懸念材料があったことや、米政府系住宅金融機関(GSE)に公的資金が注入されるとの観測が台頭したことなどの悪材料が見られた一方、月末に発表された第2四半期実質国内総生産(GDP)改定値が前期比年率+3.3%と市場予想(+2.7%)を上回る水準となったことは好材料となりました。

## 【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は+2.19%、英FT100指数は+4.15%、仏CAC指数は+2.05%、独DAX指数は0.88%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

当月の欧州株式市場は、薄商いの中、一進一退の動きとなりました。月初は、原油価格や商品市況が前月に引き続き下落した為、エネルギー・商品関連株が下落しましたが、消費関連銘柄は上昇しました。月中旬は、第2四半期ユーロ圏実質国内総生産(GDP)が前期比 0.2%となったことや、市場に米住宅金融公社2社の信用不安が広がったことなどで、下落しました。月後半にかけては、商品価格の上昇により商品関連銘柄が上昇し、また、月末に発表された米経済指標(米8月シカゴ大学消費者信頼感指数や米8月シカゴ購買部協会景気指数等)も市場心理を向上させる要因となり、欧州株式市場は上昇して月を終えました。

## 【国内債券市場】

国内債券市場は、日米ともに景気後退観測が台頭したことや、米国金融不安の強まりを受け、金利が低下(債券価格は上昇)する展開となりました。

月初発表の米雇用統計の悪化や米大手自動車会社の赤字決算等を受け、米景気後退観測が強まったことが、利上げ観測の後退となり、米金利低下を促しました。さらに、その後も米大手保険会社の損失拡大等のニュースがこの市場心理を後押しする結果となりました。国内債券市場は、この海外金利動向や国内景況感の更なる悪化を材料に金利は低下(債券価格は上昇)となりました。10年国債利回りは、景気のけん引役であった輸出の悪化や、内閣府や日銀が景気認識を下方修正したことも多量あり、心理的な節目となる1.5%を割り込み、1.4%前半まで低下する動きとなりました。市場にはインフレ懸念が残っていたものの、原油価格の調整から、一旦インフレ過熱感が後退したことも、債券の買い安心感につながりました。しかし、金利低下が先物主導であったことから、10年国債利回りは、1.4%前半で下げ渋る動きがみられ、月末を迎えました。

## (参考指標)

		2008年7月末	2008年8月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1,303.62 ポイント	1,254.71 ポイント	-3.75%
	日経平均	13,376.81 円	13,072.87 円	-2.27%
	新発10年国債	1.530 %	1.405 %	0.125低下
米国	NYダウ	11,378.02 ドル	11,543.55 ドル	1.45%
	S&P500	1,267.38 ポイント	1,282.83 ポイント	1.22%
	NASDAQ	2,325.55 ポイント	2,367.52 ポイント	1.80%
	10年国債	3.946 %	3.812 %	0.135低下
欧州	FT100	5,411.90 ポイント	5,636.60 ポイント	4.15%
	CAC40	4,392.36 ポイント	4,482.60 ポイント	2.05%
	DAX	6,479.56 ポイント	6,422.30 ポイント	-0.88%
	独10年国債	4.355 %	4.176 %	0.179低下
為替	米ドル/円レート	108.12 円	109.36 円	1.15%円安
	ユーロ/円レート	168.47 円	160.88 円	4.51%円高

\* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

\* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 特別勘定の資産内容について(2008年8月)

### 【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
07/09/30	1.007
07/10/31	1.009
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927
08/07/31	0.922
08/08/31	0.916

### 【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
-0.59%	-2.59%	-7.63%	-5.58%	2.07%	-8.36%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

### 【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	704,754	2.0
日本株式型投資信託 (アクサR)	3,394,396	9.5
日本株式型投資信託 (アクサR)	5,058,675	14.1
米国株式型投資信託(アクサR)	5,356,149	15.0
欧州株式型投資信託(アクサR)	3,601,379	10.1
日本債券型投資信託(アクサR)	17,130,056	47.8
その他	572,813	1.6
特別勘定合計	35,818,226	100.0

注) 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っておりません。

### 【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,094	2,517,021
終身型	54,730	292,681,198
合計	55,824	295,198,220

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

### 【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

### 【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チーム)



## 日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】** TOPIX

### 【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 3.75%であったのに対し、当ファンドは、4.33%となりました。  
当月の日本株式市場は、小型株が下落し、大型株を中心に上昇する基調にあり、当ファンドでは大型株をベンチマーク対比で少なめに保有していたことがマイナスに寄与しました。  
運用協力会社独自の業種別では、相対的に下落した銀行、機械を多めに保有していたことや、上昇した薬品を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。  
個別銘柄では、相対的に下落した新日本製鐵(5401)、三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)を多めに保有したこと、上昇したイーザイ(4523)をベンチマーク対比で少なめに保有していたことなどはいずれもマイナスに寄与しました。

### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。  
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



順位	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.9%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.2%
4	日本電信電話	情報・通信業	1.9%
5	本田技研工業	輸送用機器	1.7%
6	任天堂	その他製品	1.6%
7	キヤノン	電気機器	1.6%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.5%
9	東日本旅客鉄道	陸運業	1.3%
10	松下電器産業	電気機器	1.3%
合計			20.7%
組入銘柄数			474銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

## 日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】** TOPIX

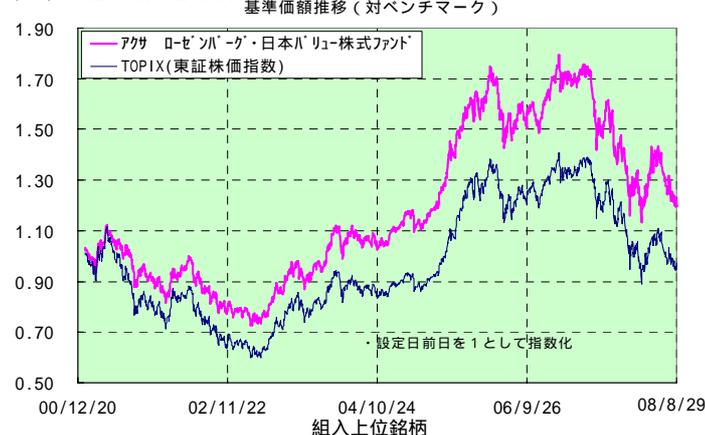
### 【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 3.75%であったのに対し、当ファンドは、4.98%となりました。  
当月の日本株式市場は、小型株が下落し、大型株を中心に上昇する基調にあり、当ファンドでは大型株をベンチマーク対比で少なめに保有していたことがマイナスに寄与しました。  
運用協力会社独自の業種別では、相対的に下落した総合商社、機械を多めに保有していたことや、上昇した薬品をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。  
個別銘柄では、下落した三井物産(8031)、伊藤忠商事(8001)や東芝(6502)などをベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。  
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



順位	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.0%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.5%
3	日立製作所	電気機器	2.9%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%
5	ジェイ・エフ・イー・ホールディングス	鉄鋼	2.8%
6	日産自動車	輸送用機器	2.6%
7	国際石油開発帝石ホールディングス	鉱業	2.4%
8	東海旅客鉄道	陸運業	2.4%
9	富士通	電気機器	2.3%
10	東芝	電気機器	2.1%
合計			28.8%
組入銘柄数			394銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** MSCI 欧州株価指数(為替ヘッジあり)

基準価額推移(対ベンチマーク)

### 【運用状況】

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が+1.68%であったのに対し、当ファンドは+1.51%となりました。

当月の欧州株式市場は、相対株価上昇度の高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、下落した銀行をベンチマークに比較して少なめに保有していたことや、上昇した紙・パルプ、ITハードウェアを多めに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、下落した素材のエクストラタ(スイス)、カザフミ(イギリス)や保険のスイス・ライフ・ホールディング(スイス)をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。



### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	BP PLC	エネルギー	2.8%
2	トタル SA	エネルギー	2.4%
3	ネスレ	食品・飲料・タバコ	2.4%
4	エーオン	公益事業	1.9%
5	HSBC ホールディングス PLC	銀行	1.9%
6	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS	エネルギー	1.9%
7	ENI SPA	エネルギー	1.6%
8	アリアンツ	保険	1.5%
9	アングロ・アメリカン PLC	素材	1.5%
10	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	1.4%
	合計		19.3%
	組入銘柄数		298銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

## 米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** S & P 500(為替ヘッジあり)

基準価額推移(対ベンチマーク)

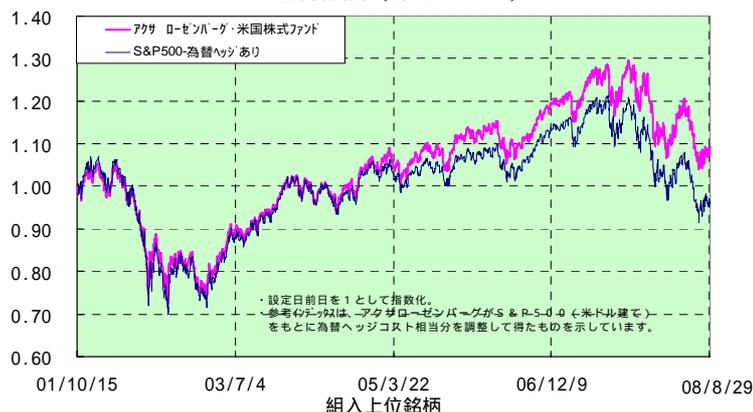
### 【運用状況】

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が+1.11%であったのに対し、当ファンドは+0.72%となりました。

当月の米国株式市場は、相対株価上昇度の高い銘柄が下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことは、マイナスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、下落した石油サービス、化学を多めに保有していたことや、上昇したITハードウェアを少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

個別銘柄別では、大きく下落した米連邦住宅抵当公庫(ファニーメイ)を保有していなかったこと、保険のアメリカン・インターナショナル・グループを少なめに保有していたことや、上昇したアップルをベンチマーク対比で多めに保有していたことなどはプラスに寄与しました。



### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	エクソン・モービル	エネルギー	4.3%
2	ゼネラル・エレクトリック	資本財	2.1%
3	シェブロン	エネルギー	2.1%
4	IBM	テクノロジー製品・機器	2.0%
5	アップル	テクノロジー製品・機器	1.8%
6	コノフィリップス	エネルギー	1.7%
7	シュルンベルジェ	エネルギー	1.7%
8	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	1.6%
9	プロクター・アンド・ギャンブル	家庭用品・パーソナル用品	1.6%
10	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー	1.6%
	合計		20.5%
	組入銘柄数		284銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

**日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

**【運用状況】**

当月の当ファンドは+0.69%となり、ベンチマークは+0.72%となりました。景気、物価情勢については日銀が見通しを修正したように、景気については減速傾向が強まり、物価については上昇傾向となっています。消費は依然弱く、輸入コストの増加により企業景況感も悪化しています。インフレ懸念による金利上昇リスクが残る一方で、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安、米国景気減速懸念、及び国内景気悪化懸念が金利低下を促す可能性も強く、どちらか一方の見通しを描くことは難しいと判断しました。従って、デュレーション・ポジションには予断を持たず、中立的なバイアスで臨みました。実際には金利低下傾向であったものの、低下幅は限定的であるとの見通しから、リスクを考慮し、中立を維持しました。よって、この戦略はパフォーマンスに大きな寄与はありませんでした。中長期的なインフレ懸念を考慮したインフレ連動国債買い持ちポジションと、社債等の対国債利回り較差が拡大傾向となったことが、マイナス寄与となり、ポートフォリオ全体では、小幅ながらマイナスのパフォーマンスとなりました。



基準価額推移 (対ベンチマーク)

**【今後の運用方針】**

日銀は、米サブプライムローン問題や金融不安等の不確定要素を注視しながらも、これまでのところ政策金利は維持していますが、今後景気の減速感が強まることと予想され、上記の不確定要素が実体経済に与える影響を考え合わせれば、今後さらに慎重な金融政策の運営が求められる状況となっています。当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策への影響も考慮しつつ運用を行っていく方針です。

	組入比率	デュレーション
公社債	99.7%	4.51年
短期資産等*	0.3%	0.00年
合計	100.0%	4.50年

\*債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	80.1%	4.89年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	4.9%	3.31年
金融債	0.5%	1.81年
社債等	14.2%	2.87年
コールローンその他*	0.3%	0.00年
合計	100.0%	4.50年

\*債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	5.4%
AA	89.7%
A	4.4%
BBB	0.5%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

\*\* S&P格付を優先

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

**注意事項**

**変額保険の仕組み**

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

**変額保険のリスクについて**

**市場リスク**

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

**信用リスク**

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-383	1,000	-347	-8.36	-1.07
平成12年 9月 1日	1,000	-391	1,000	-355	-9.71	-1.27
平成12年 10月 1日	1,000	-368	1,000	-333	-7.13	-0.93
平成12年 11月 1日	1,000	-349	1,000	-315	-5.03	-0.66
平成12年 12月 1日	1,000	-328	1,000	-295	-2.61	-0.34
平成13年 1月 1日	1,000	-308	1,000	-276	-0.46	-0.06
平成13年 2月 1日	1,000	-319	1,000	-287	-2.28	-0.30
平成13年 3月 1日	1,000	-284	1,000	-253	1.90	0.25
平成13年 4月 1日	1,000	-263	1,000	-232	4.19	0.55
平成13年 5月 1日	1,000	-286	1,000	-255	0.87	0.12
平成13年 6月 1日	1,000	-278	1,000	-247	1.49	0.20
平成13年 7月 1日	1,000	-264	1,000	-234	2.90	0.40
平成13年 8月 1日	1,000	-237	1,000	-207	5.93	0.82
平成13年 9月 1日	1,000	-197	1,000	-169	10.47	1.43
平成13年 10月 1日	1,000	-149	1,000	-123	16.13	2.19
平成13年 11月 1日	1,000	-164	1,000	-138	13.74	1.90
平成13年 12月 1日	1,000	-169	1,000	-143	12.69	1.79
平成14年 1月 1日	1,000	-169	1,000	-142	12.34	1.76
平成14年 2月 1日	1,000	-141	1,000	-115	15.41	2.20
平成14年 3月 1日	1,000	-148	1,000	-122	14.12	2.05
平成14年 4月 1日	1,000	-161	1,000	-135	12.05	1.79
平成14年 5月 1日	1,000	-154	1,000	-128	12.54	1.88
平成14年 6月 1日	1,000	-156	1,000	-130	11.89	1.81
平成14年 7月 1日	1,000	-117	1,000	-92	16.22	2.47
平成14年 8月 1日	1,000	-82	1,000	-57	20.26	3.08
平成14年 9月 1日	1,000	-78	1,000	-53	20.25	3.12
平成14年 10月 1日	1,000	-48	1,000	-23	23.67	3.66
平成14年 11月 1日	1,000	-44	1,000	-19	23.66	3.71
平成14年 12月 1日	1,000	-58	1,000	-33	21.51	3.45
平成15年 1月 1日	1,000	-29	1,000	-4	24.70	3.97
平成15年 2月 1日	1,000	-2	1,000	23	27.68	4.47
平成15年 3月 1日	1,000	4	1,000	31	28.18	4.62



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	9	1,000	36	28.33	4.71
平成15年 5月 1日	1,000	-5	1,000	20	25.71	4.38
平成15年 6月 1日	1,000	-19	1,000	6	23.56	4.11
平成15年 7月 1日	1,000	-36	1,000	-11	20.96	3.75
平成15年 8月 1日	1,000	-45	1,000	-20	19.42	3.55
平成15年 9月 1日	1,000	-52	1,000	-27	18.10	3.38
平成15年 10月 1日	1,000	-53	1,000	-28	17.57	3.35
平成15年 11月 1日	1,000	-62	1,000	-38	15.97	3.11
平成15年 12月 1日	1,000	-57	1,000	-32	16.15	3.20
平成16年 1月 1日	1,000	-67	1,000	-42	14.58	2.96
平成16年 2月 1日	1,000	-77	1,000	-52	12.95	2.69
平成16年 3月 1日	1,000	-87	1,000	-62	11.36	2.42
平成16年 4月 1日	1,000	-98	1,000	-74	9.57	2.09
平成16年 5月 1日	1,000	-95	1,000	-71	9.53	2.12
平成16年 6月 1日	1,000	-84	1,000	-59	10.48	2.37
平成16年 7月 1日	1,000	-93	1,000	-69	8.99	2.09
平成16年 8月 1日	1,000	-74	1,000	-50	10.76	2.53
平成16年 9月 1日	1,000	-73	1,000	-48	10.54	2.54
平成16年 10月 1日	1,000	-71	1,000	-46	10.36	2.55
平成16年 11月 1日	1,000	-65	1,000	-41	10.60	2.66
平成16年 12月 1日	1,000	-74	1,000	-50	9.15	2.36
平成17年 1月 1日	1,000	-87	1,000	-62	7.33	1.95
平成17年 2月 1日	1,000	-84	1,000	-60	7.22	1.96
平成17年 3月 1日	1,000	-95	1,000	-71	5.53	1.55
平成17年 4月 1日	1,000	-94	1,000	-70	5.34	1.53
平成17年 5月 1日	1,000	-76	1,000	-52	6.94	2.03
平成17年 6月 1日	1,000	-84	1,000	-60	5.64	1.70
平成17年 7月 1日	1,000	-93	1,000	-69	4.21	1.31
平成17年 8月 1日	1,000	-102	1,000	-78	2.83	0.91
平成17年 9月 1日	1,000	-106	1,000	-82	2.07	0.68
平成17年 10月 1日	1,000	-133	1,000	-109	-1.33	-0.46
平成17年 11月 1日	1,000	-124	1,000	-101	-0.79	-0.28
平成17年 12月 1日	1,000	-144	1,000	-144	-3.35	-1.23
平成18年 1月 1日	1,000	-157	1,000	-156	-5.09	-1.94
平成18年 2月 1日	1,000	-166	1,000	-165	-6.42	-2.53



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-158	1,000	-157	-5.93	-2.41
平成18年 4月 1日	1,000	-163	1,000	-162	-6.77	-2.86
平成18年 5月 1日	1,000	-158	1,000	-157	-6.57	-2.87
平成18年 6月 1日	1,000	-125	1,000	-125	-3.38	-1.51
平成18年 7月 1日	1,000	-125	1,000	-124	-3.70	-1.72
平成18年 8月 1日	1,000	-122	1,000	-121	-3.72	-1.80
平成18年 9月 1日	1,000	-136	1,000	-157	-5.58	-2.83
平成18年 10月 1日	1,000	-133	1,000	-152	-5.64	-2.98
平成18年 11月 1日	1,000	-134	1,000	-151	-6.08	-3.37
平成18年 12月 1日	1,000	-132	1,000	-146	-6.21	-3.60
平成19年 1月 1日	1,000	-146	1,000	-158	-8.04	-4.91
平成19年 2月 1日	1,000	-152	1,000	-161	-9.01	-5.79
平成19年 3月 1日	1,000	-150	1,000	-157	-9.18	-6.22
平成19年 4月 1日	1,000	-147	1,000	-151	-9.18	-6.57
平成19年 5月 1日	1,000	-151	1,000	-152	-9.88	-7.50
平成19年 6月 1日	1,000	-156	1,000	-155	-10.75	-8.70
平成19年 7月 1日	1,000	-151	1,000	-150	-10.53	-9.10
平成19年 8月 1日	1,000	-133	1,000	-132	-8.98	-8.32
平成19年 9月 1日	1,000	-116	1,000	-116	-7.63	-7.63

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年8月末までの運用実績を示したものです。  
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

